

2007年4月15日(日曜日)

福井の明日 もっと元気に

西川県政 2期目がスタート



記者会見で2期目への抱負と決意を語る西川知事

4月8日の選挙で、西川一誠知事が再選を果たしました。
その翌日の4月9日には登庁して、職員を前にあいさつし、記者会見に臨みました。
そこで西川知事は、より元氣な福井県づくりを目指すための抱負と決意を力強く語りました。

「楽しみ」と「喜び」にあふれた理想県づくりを

「暮らしの質」の向上を

西川知事は、これまでの4年間について「経済の活性化が最も大きなテーマで、景気・雇用対策を中心に全力で取り組んできた。その結果、本県の失業率は日本一低くなり、また、出生率が全国で唯一上昇し、犯罪の減少率が全国第1位となるなど、雇用、福祉、治安など多くの分野で大きな成果をあげることができた」と振り返りました。

そして、「これからは、こうした福井の豊かさにさらに磨きをかけ、新しい時代にふさわしい『生活の質』を生み出し、『楽しみ』や『喜び』をもって暮らせる理想県を目指していかなければならない」と今後の方向性を示しました。



職員を前に「『あたたかい心』と『広い視野』を持って、政策の質向上を」とあいさつする西川知事

きょうどう 「共動システム」づくりを進め、福井の良いものを全国に世界に

西川知事は、『福井 新 元氣宣言』に掲げた目標を達成するために「これまで以上に県民の皆さんと共に知恵と活動力を結集していくことが重要。あらゆる分野で県民と共に活動し、そのエネルギーを県政に活かしていくための『共動システム』を積極的に導入する必要がある」と述べ、さらに、「福井の良さや福井のブランドを全国・世界に発信していくため、自らが先頭に立つ」と意欲を示しました。

また、職員には「あたたかい心・広い視野を持ち、絶えず効果や成果を考えて仕事に取り組んでほしい」と一層の奮起を促しました。

県民の視点に立った「地方分権」の推進を

県政推進の基本的な考え方として「絶えず県民の視点に立ち、福井県の発展を考え、一つ先を見込んだ長期的な視点も加えて行政を進めていくことが我々の大きな責務」と述べ、地方分権について「地方のことは地方で決めるということが基本。あくまでも県民の視点に立って、自ら地方分権を進めていく必要がある」と自主・自立の福井県を目指す決意を示しました。

最後に、職員には「知恵と自発力が求められている」とし、県民共通の願いである「自分たちが住むこの福井を、地域を少しでも良くしたい」という思いに応えるため、「全員が力と心をついにし、新しい課題に挑戦し、今日より明日という気持ちで、福井の明日(あした)をもっと元気にするため、共にがんばっていきましょう」と呼びかけました。

「福井^新元気宣言」4つのビジョンと10の政策

「福井^新元気宣言」では、これまで4年間の景気・雇用対策をはじめとした「福井元気宣言」の考え方と成果を基盤に、県民の「生活の質」、「暮らしやすさの実感」をさらに高めるため、福井の「元気」を進化させることを目指します。

このため教育・文化、子育て・福祉、安全・安心など、すべての県民の生活に関わる「元気な社会」を第一に掲げ、「元気な産業」、「元気な県土」、「元気な県政」の4つのビジョンに基づく10の新しい政策を実行します。

元気な社会

- 1 未来を託す教育・親しみ楽しむ県民文化
- 2 女性活躍社会
- 3 イキイキ・長生き「健康長寿」
- 4 みんなの手によるあたたか福祉
- 5 日本一の安全・安心
(治安回復から治安向上へ)

元気な産業

- 6 地域を支え世界に広がる福井の産業
- 7 力強いプライドの農林水産業

元気な県土

- 8 高速交通時代のにぎわい交流まちづくり
- 9 原子力の安全・安心と信頼の確保

元気な県政

- 10 夢と誇りのふるさとづくり

知事に直接あなたの声を

県のホームページに「知事へのおたより」コーナーを設けています。県民の皆さまからの積極的なご意見・ご提案をお待ちしています。

ようこそ知事室へ

→ 知事へのおたより

郵便やFAXでも受け付けています。

〒910-8580(住所記載不要) 県民サービス室 県民参加チーム

TEL 0776(20)0221 FAX 0776(20)0622

 BACK